



読むトコ



第12巻 第2号 (2023.7)

5/26(金)に大人向け工作会を実施いたしました。

「無線綴じメモ帳」を作りました。

今回の工作会では簡単な製本作業を体験して頂きました。糸綴じはせず、メモ用紙には折り紙を使用し、厚手のボール紙とクロス(布)でしっかりとした表紙のメモ帳を製作しました。

厚手のボール紙を切る作業など苦戦する工程はありましたが、完成した実物を手にされた皆様満足して頂いていたようでした。

今回参加できなかったという方も今後新所沢分館で様々なイベントを開催していきますので興味がありましたらぜひご参加ください。



6/24(土)に大人向け朗読会を実施いたしました。

「3分で読める！コーヒブレイクに読む喫茶店の物語」 (B913.68/サ)

『このミステリーがすごい！』編集部/編 宝島社 2020年

・睡魔 梶永正史/著

「できない相談」 (913.6/モ) 森絵都/著 筑摩書房 2019年

- ・満場一致が多すぎる
- ・電球を替えるのはあなた

今回は左記の3冊計4話朗読いたしました。

次回は、秋頃予定しております。お楽しみに！

「Day to Day」 (913.68/デ) 講談社/編 講談社 2021年

・6/24 宮澤伊織/著



〇〇の日 おすすめ本紹介



7月 7日はカルピスの日

1919(大正8)年7月7日に日本初の乳酸飲料「カルピス」が誕生したことを記念して、カルピス株式会社が制定。

『カルピスをつくった男 三島海雲』(B289.1/ミ)

山川 徹 小学館

国民的飲料の「カルピス」、その生みの親は僧侶の三島海雲という人物。

三島海雲の生涯をなぞりながら、カルピス誕生までの道のりやなぜパッケージが水玉模様なのかなどの謎を紐解いています。

すっきりした読後にすっきりした甘さのカルピスをぜひ。



8月 4日は箸の日

毎日の食生活に欠かせない箸へ、感謝することを目的に制定。

「ハ(8)シ(4)」と読む語呂合わせ。

『箸の作法』(596.8/オ)

奥田 和子/著 同時代社

普段、ほとんど気にかけることなく使っているお箸。その形や作法は、日本の食文化や気候・風土に根ざして作られてきたもので、和食とともに後世へ伝えていきたい和の伝統です。

箸の繊細な動きは、手先のみならず頭も活性化させるなど、箸にまつわる新たな気づき、感謝の思いを与えてくれる一冊です。



9月 秋の夜長にアンソロジーはいかがですか

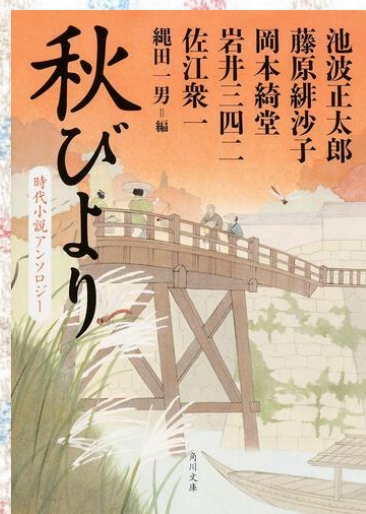
『秋びより 時代小説アンソロジー』(B913.68/ア)

池波正太郎、藤原緋沙子、岡本綺堂、岩井三四二、佐江衆一

KADOKAWA/角川文庫

江戸の菊人形でにぎわう季節に異人(外国人)が袋叩きにされるという騒動が起きます。その騒動の渦中、異人が乗っていた馬二匹が何者かに盗まれるというなんとも不可解な出来事が。調べを進めていくと巾着切りのお角と市子(生霊や死霊を口寄せするもの)のおころさんという二人の女の名が出てきますが・・・(『菊人形の昔』より)

他にも5つの短編が収録されています。



読むトコ 第12巻第2号

編集・発行：所沢市立所沢図書館新所沢分館（指定管理者 株式会社ヴィアックス）

発行日：2023年7月

〒359-1111 所沢市緑町1-8-3 ☎04-2929-1905